

イワハタザオ	<i>Arabis serrata</i> Franch. et Sav. var. <i>japonica</i> (H.Boissieu) Ohwi	絶滅危惧 I 類
		アブラナ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。	<p data-bbox="1123 367 1321 398">写真(箕浦博之)</p> 
形態の特徴	細い地下茎があり、株状になる多年草。茎は高さ15-45cm。根生葉はかなり長い柄をもち広披針形。茎葉は長楕円形～楕円形で、基部は矢じり状となって茎を抱く。花期は7-8月。花は白色で径12-18mm。長角果は長線形で、弓状に開く。	
生態的特徴	山地に生える。	
分布状況	日本固有の種。本州の中北部の深山に生育する。県内では県北の北部及び県南の西部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県北及び県南の特定区域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅱ」平凡社(1982)	

文責: 佐藤和良